

書 評



おはなし科学・技術シリーズ
「クリーンエネルギー社会のおはなし」

原田 亮
帝国石油株式会社

書 名： おはなし科学・技術シリーズ
クリーンエネルギー社会のおはなし
著 者： 吉田 邦夫
出版社： 日本規格協会
ISBN番号： ISBN978-4-542-90282-4

21世紀はいかなる世紀となるであろうか。これまで人類が経験したことのない世紀となるに違いないといわれている。その理由は、産業革命から約200年たった現在、私たち人類が築いてきた文明は大きな転機を迎えつつあるからである。7月に行なわれたサミットでの主要検討課題は環境破壊とエネルギー問題であった。ミレニアムの頃、明確になりつつあったこれらの問題が10年を経たずに顕在化したことは、これまでの人類が築き上げてきた文明に大きな疑問を投げかけていると言えよう。洞爺湖サミットの総括には「地球規模の課題は、地球規模で立ち向かうしかない」というものであったが、人類史上、地球規模の問題を解決した例はなく、まさに21世紀に取り組み解決しなければならない新規な問題として、人類一人ひとりが自覚せねばならない状況を迎えている。

このような時代背景にあって、まさにタイムリーな時期に日本規格協会より「おはなし科学・技術シリーズ クリーンエネルギー社会のおはなし」が発行された。本書は東京大学名誉教授である吉田邦夫先生が一般人向けに書き下ろした、「今後のエネルギーの利用方法についての指針を示すため」の本として出版している。一般読者向けに執筆された本であり、おはなしシリーズでもあるため「クリーンエネルギー」について非常に平易に分かりやすく記述している。しかし、本書を見るなり圧倒されるところもあるのではないかと思う。それは、この本が有用な図表を非常に多く掲載し、本文中で活用しているからである。図が108、表が34、参考文献が99掲載され、一般書の類

としては群を抜いた数が示されている。参考文献にまで手を伸ばせば、すぐに専門領域に足を踏み入れることができよう工夫されている。どの章もこの図表を交えたきめ細かい、そしてわかりやすい解説が示され、本書が膨大な知識と資料を背景に書かれたことを物語っている。一般読者向けの入門書でありながら専門書の様相をしている極めて質の高い良書である。また、本書は吉田先生の哲学にも触れることができる。「大量にエネルギーを消費して経済発展を遂げる路線から、地球環境の保全に十分に考慮しながら持続性のある発展を目指す路線へと切り替えて行くには、私たちの価値観も変えて行くことが必要」であり、「私たちは、反省と未来への確かな展望を持ち、21世紀における化学と技術の問題に取り組まなければならない」ことを繰り返し主張している。「石油依存を脱却して、石炭・天然ガス・原子力を中心にして、それに太陽・風力・バイオマスなどの自然エネルギーが補完的に使用される社会を構築することが必要であるとの考えに立って、そのために求められる技術を取りあげ、わかりやすく解説」をしており、大学1年生を対象とした入門書としても活用できる教育的な側面も持っている。本書評は本書の一部をクローズアップしたに過ぎない。読者の方々にあつては、一度本書を手に取り、一読を進めたいという読後感を得た。数少ない「クリーンエネルギー」を解説した良書である。